参考資料

国土技術政策総合研究所が重点的に推進する研究課題（総プロ・プロ研・事項立て）一覧

研究課題名	研究期間										分科会担当部会	研究課題区分		
	20	21	22	23	24	25	26	27	28			総プロ	プロ研	事項
ソーシャルキャピタルの特性に応じた地域防災力向上方策に関する研究		■	■	■						H21～23	第一部会		●	●
都市におけるエネルギー需要・供給者間の連携と温室効果ガス排出量取引に関する研究		■	■	■						H21～23	第一部会		●	●
汽水域環境の保全・再生に関する研究		■	■	■						H21～23	第一部会		●	●
土砂移動を考慮した治水安全度評価手法に関する研究		■	■	■						H21～23	第一部会			●
小規模建築物の雨水浸入要因とその防止策に関する研究		■	■	■						H21～23	第二部会			●
高層建築物の地震後の火災安全対策技術の開発		■	■	■						H21～23	第二部会			●
省CO2効果からみたヒートアイランド対策評価に関する研究		■	■	■						H21～23	第二部会			●
エアラインの行動を考慮した空港需要マネジメントに関する研究	■	■	■	■						H20～23	第三部会			●
持続可能な臨海部における廃棄物埋立処分に関する研究		■	■	■						H21～23	第三部会			●
低炭素・水素エネルギー活用社会に向けた都市システム技術の開発		■	■	■	■					H21～24	その他	●	●	
作用・性能の経時変化を考慮した社会資本施設の管理水準の在り方に関する研究		■	■	■	■					H21～24	第三部会			●
グリーンITSの研究開発			■	■	■					H22～24	第一部会		●	
3次元データを用いた設計、施工、維持管理の高度化に関する研究			■	■	■					H22～24	第一部会		●	
気候変動下での大規模水災害に対する施策群の設定・選択を支援する基盤技術の開発			■	■	■	■				H22～25	第一部会		●	●
アジア国際フェリー輸送の拡大に対応した輸送円滑化方策に関する研究			■	■	■	■				H22～25	第三部会		●	●
社会資本の予防保全的管理のための点検・監視技術の開発			■	■	■					H22～24	その他	●	●	
地震動情報の高度化に対応した建築物の耐震性能評価技術の開発			■	■	■	■				H22～25	その他	●	●	
美しいまちづくりに向けた公共事業の景観創出の効果分析に関する研究			■	■	■					H22～24	第一部会			●
住宅種別に応じた省エネルギー消費性能評価法の開発			■	■	■					H22～24	第二部会			●
密集市街地における協調的建て替えルールの策定支援技術の開発			■	■	■	■				H22～25	第二部会			●
建築実務の円滑化に資する構造計算プログラムの技術基準に関する研究			■	■	■	■				H22～25	第二部会			●
物流の効率性と両立した国際輸送保安対策のあり方に関する研究			■	■	■					H22～24	第三部会			●
社会資本LCAの実用化研究				■	■					H23～24	第一部会		●	
大規模広域型地震被害の即時推測技術に関する研究				■	■	■	■			H23～26	第一部会		●	●
道路交通の常時観測データの収集、分析及び利活用の高度化に関する研究				■	■	■				H23～25	第一部会		●	
再生可能エネルギーに着目した建築物への新技術導入に関する研究				■	■	■				H23～25	第二部会		●	●
沿岸域の統合的管理による港湾環境の保全・再生に関する研究				■	■	■	■			H23～26	第三部会		●	
中古住宅流通促進・ストック再生に向けた既存住宅等の性能評価技術の開発				■	■	■	■			H23～26	その他	●	●	
地域における資源・エネルギー循環拠点としての下水処理場の技術的ポテンシャルに関する研究				■	■	■				H23～25	第一部会			●
都市計画における戦略的土地利用マネジメントに向けた土地適性評価技術に関する研究 －集約型都市（コンパクトシティ）の形成に向けて－				■	■	■				H23～25	第二部会		●	●
高齢者の安心居住に向けた新たな住まいの整備手法に関する研究				■	■	■				H23～25	第二部会			●
国際バルク貨物輸送効率化のための新たな港湾計画手法の開発				■	■	■	■			H23～26	第三部会			●
津波からの多重防護・減災システムに関する研究（プロ研課題名） ・災害対応を改善する津波浸水想定システムに関する研究（事項立て課題名）（H23～25） ・沿岸都市の防災構造化支援技術に関する研究（事項立て課題名）の一部（H24～26）				■	■	■	■			H23～26	第一部会		●	●
木造3階建学校の火災安全性に関する研究				■	■	■	■	■		H23～27	第二部会		●	
超過外力と複合的自然災害に対する危機管理に関する研究					■	■	■			H24～26	第一部会		●	●
大規模土砂生産後の流砂系土砂管理のあり方に関する研究					■	■	■			H24～26	第一部会		●	
ICTを活用した人の移動情報の基盤整備及び交通計画への適用に関する研究					■	■	■			H24～26	第一部会			●
沿岸都市の防災構造化支援技術に関する研究 （一部☆に含む）					■	■	■			H24～26	第二部会			●
外装材の耐震安全性の評価手法・基準に関する研究					■	■	■			H24～26	第二部会			●
建物火災時における避難安全性能の算定法と目標水準に関する研究					■	■	■			H24～26	第二部会			●
[平成25年度新規研究課題]														
持続可能な社会・経済・生活を支える社会資本の潜在的役割・効果に関する研究						■	■	■		H25～27	第一部会		●	
道路インフラと自動車技術との連携による次世代ITSの開発						■	■	■		H25～27	第一部会		●	
大規模地震災害時における最低限の下水道機能維持・早期復旧に関する研究（プロ研課題名） ・下水道施設の戦略的な耐震対策優先度評価手法に関する調査（事項立て事前評価時課題名）						■	■	■		H25～27	第一部会		●	●
地域の住宅生産技術に対応した省エネルギー技術の評価手法に関する研究						■	■	■		H25～27	第二部会			●
港湾地域における津波からの安全性向上に関する研究（プロ研課題名） ・港湾堤外地における津波からの安全性向上に関する研究（事項立て事前評価時課題名）						■	■	■		H25～27	第三部会		●	●
東日本大震災によって影響を受けた港湾域の環境修復技術に関する研究						■	■	■		H25～27	第三部会		●	●
港湾分野における技術・基準類の国際展開方策に関する研究						■	■	■		H25～27	第三部会			●
電力依存度低減に資する建築物の評価・設計技術の開発						■	■	■		H25～27	その他	●	●	
災害拠点建築物の機能継続技術の開発						■	■	■	■	H25～28	その他	●	●	
社会資本等の維持管理効率化・高度化のための情報蓄積・利活用技術の開発						■	■	■	■	H25～28	その他	●	●	
	20	21	22	23	24	25	26	27	28			総プロ	プロ研	事項

■：研究期間

第一部会 対象課題　　第二部会 対象課題　　第三部会 対象課題

※分科会担当部会の「その他」については本省主催の評価委員会にて行う。

事前評価シート
平成２４年度　第〇回国土技術政策総合研究所研究評価委員会分科会（第〇部会）

評価者	〇〇〇〇　委員
評価日	平成２４年〇月〇日

課題名	〇〇
研究期間	平成〇〇年度～平成〇〇年度
研究代表者	〇〇研究部長　〇〇〇〇

＜評価の視点と項目＞

必要性、効率性、有効性について、以下の観点を踏まえ、自己点検結果をもとに事前評価を行う。
【必要性】科学的・技術的意義、社会的・経済的意義、目的の妥当性等
【効率性】計画・実施体制の妥当性等
【有効性】新しい知の創出への貢献、社会・経済への貢献、人材の育成等

＜コメント＞

※実施すべきか、一部修正して実施すべきか、再検討すべきかについて、何れかに〇を記載願います。

①実施すべき　/　②一部修正して実施すべき　/　③再検討すべき

※上記評価の視点と項目からの評価、研究を実施するに当たっての留意事項、及びその他について記述願います。

事後評価シート
平成２４年度　第〇回国土技術政策総合研究所研究評価委員会分科会（第〇部会）

評価者	〇〇〇〇　委員
評価日	平成２４年〇月〇日

課題名	〇〇
研究期間	平成〇〇年度～平成〇〇年度
ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄﾘｰﾀﾞｰ	〇〇研究部　　〇〇〇〇

＜評価の視点と項目＞

必要性、効率性、有効性について、以下の観点を踏まえ、自己点検結果をもとに事後評価を行う。
【必要性】科学的・技術的意義、社会的・経済的意義、目的の妥当性等
【効率性】計画・実施体制の妥当性等
【有効性】目標の達成度、新しい知の創出への貢献、社会・経済への貢献、人材の育成等

＜評価の結果＞

評価項目	評価指標（何れかに〇を記載願います。）	コメント
研究の実施方法と体制の妥当性	１　適切であった ２　概ね適切であった ３　やや適切でなかった ４　適切でなかった	
目標の達成度	１　十分に目標を達成できた ２　概ね目標を達成できた ３　あまり目標を達成できなかった ４　ほとんど目標を達成できなかった	

その他特筆すべき点
（目標設定の妥当性、研究成果の活用方針、科学的・技術的意義、本研究の総合評価等）

（副次的成果、次につながる成果について、特筆する事項がございましたらご記入願います。）

※評価に当たっては＜評価の結果＞の評価指標欄のいずれかに〇を付けていただき、その補足としてコメントをご記入願います。評価項目の評価の他に必要に応じて「その他特筆すべき点」にご記入願います。